土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　福川排水機場（仮称）予備・詳細設計業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　建築　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.R1-2	調査位置	広島県福山市神島町　地内	北　緯	34° 29’ 02.8100″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和元年 7月30日～ 令和元年 8月 6日	東　経	133° 20’ 28.5500″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 3.70m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	13.24m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　DO-D型 / エンジン：ヤンマー　TF90V-E型 / ポンプ：東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
	2.60	1.10		砂質土		暗褐	rd1		旧耕土及び盛土 ・最上部は草根混じる旧耕土 ・砂は細～中粒砂、細粒分を伴う
	1.80	1.90		砂質シルト		暗灰		rc3	湿地堆積物 ・微細砂分を伴う ・腐植の破片が点在
	-2.80	6.50		砂		黄褐	rd2		河成堆積物 ・砂は中粒砂主体 ・細粒分にやや乏しい ・φ10mm程度以下の円磨度やや高い細～中礫を含む
	-4.40	8.10		シルト混り砂		灰緑	rd2		崩積土 ・砂は細～中粒砂 ・φ5mm程度以下の鉱物片及び細礫を不規則に挟み粒度不均一 ・細粒分を伴う
	-5.90	9.60		砂質土		灰緑	rd3		崩積土 ・流れマサ状の砂質土 ・基質部は粒度不均一な粗粒砂から成り、細粒分若干優勢を示す ・φ5mm程度以下の細礫及び鉱物片を不規則に挟む
	-9.30	13.00		花崗岩		淡灰			黒雲母花崗岩強風化岩(DH) ・岩相不均質な粗粒黒雲母花崗岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存 ・採取試料は部分的に岩芯を残すが概ねで土砂状を呈す ・暗色包有岩がブロック状に点在

孔内水位／測定月日：7/31 1.40；8/9 2.15；8/8 3.00

標準貫入試験　深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

深度(m)	N値	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.00	1	0/250	1/400		1/650		
1.65	6						
2.15		2	2	2	6/300		
2.45	6						
3.15		2	2	2	6/300		
3.45	7						
4.15		2	2	3	7/300		
4.45	6						
5.15		2	2	2	6/300		
5.45	2						
6.15		1	1/200		2/300		
6.45	6						
7.15		2	2	2	6/300		
7.45	16						
8.15		4	6	6	16/300		
8.45	15						
9.15		3	3	9	15/300		
9.45	50gE						
10.15		17	25	8/30	50/230	230	
10.38	50gE						
11.15		21	29/90		50/190	190	
11.34	50gE						
12.15		29	21/70		50/170	170	
12.32	50gE						
13.10		35	15/40		50/140	140	
13.24	50gE						

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験 深度(m)	試験名及び結果	削孔月日
2.15	P2-2	⊖	物理			
2.45						
3.15	P2-3	⊖	物理			
3.45				4.00		
4.15	P2-4	⊖	物理		LLT E=427kN/m²	
4.45						
5.15	P2-5.	⊖	物理	5.00		7/31
5.45						
8.00						
9.00					LLT E=12520kN/m²	
11.00	A2-1	Ⓐ	物理 力学			
12.00						8/9

削孔月日：7/31、8/9